

地区行動指針：「理念と実践 ～Think Next～」 クラブスローガン：「良いクラブ、魅力あるクラブ、参加してみたくなるクラブ」

国際ロータリー第 2790 地区

第 3 分区 A

千葉西ロータリークラブ

WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 大森 薫 幹事 野口アキ子
 例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : http://www.chibawest-rc.net/



■ 会長就任挨拶 / 大森 薫 会長

本日、第 3 週目に入り、やっと会長職も落ち着いてきました。本日から知らなすぎたロータリーについて話してみたいと思います。

1. あなたは何でロータリーにいるのですか？

(1) 私に「あなたは何でロータリーにいるのですか？」と質問されたら？

私：「特に退会する理由が見つからないからです。」と答えていました。

(2) ロータリーってどこがいいのですか？どこにメリットがあるのですか？

私：「千葉で、普段、知り合いになれない人達と知り合いになれるからです。」

(3) 退会した人にした質問で良く聞く話：ロータリーをなぜ退会するのです？

理由1. 「人間関係が難しいから・・・？」(退会しなかった人もいます)「ものの決まり方が声のでかい人や有力者らしき人の言った通りになったり、そして、誰も意見を言わなかったりと、変な感じ・・・？」

理由2. 「メリットがない。他人と知り合いになれる以上にメリットがない。」

理由3. 「社会貢献とか意義のある寄附をすとか言うが、自分はすでに寄附は行っているし、ボランティア活動はしているから、これ以上必要ない・・・」

2. ロータリーとは何か他人と語ったことはありますか？

(1) 他人にロータリーとは何か？を語ったことはありますか？私も語ったことはありません。語れません。

(2) 会員が減ってきて、どうやって会員を増やせばいいのか？会員がなぜ退会してしまうのか？(人それぞれで退会の理由はある?) 「行き着く議論の中心はこのテーマ(ロータリーって何ですか?)になるように思います。」

(3) しかし、もしロータリーって、何のために存在し、その存在理由が素晴らしい事だと説明できたら、RCに参加する人はまだ沢山いたのかもしれない？

・もし、この説明ができれば、RCの考え方に共感してもらえる人=新入会者はもっといたのかもしれない。また、この説明が出来れば退会者はやむを得ない事情の方だけになっていったのかもしれない。

・ココをはっきりさせとくべきではないかと思えます。もしかして、これは、大森、余分なことはするな。ということか？触れてはいけない「タブー」なのかもしれません。

(4) 今回、私がこのような考えに及んだのは、「RCは何のために参加しているのか？」を説明をしている資料と出逢ったからです。

・うまく説明できるかどうかはわかりませんが、挑戦してみたいと思います。

・また、私に与えられた時間は5～10分ですから、何回かに分けて伝えます。分けて話すと、途切れ途切れになり、うまく伝わるかどうか？不安です。

(5) 誤解しないでください。私の持論(解釈論)をお伝えするものではありません。

①それは国際ロータリー第2840地区(群馬)の2013～2014年度ガバナー月信に1年間連載されたコラム「ロータリーの誤解・正解シリーズ」補筆・修正し、編集されたものを手にしたからです。(「ロータリーの希望」-奉仕理念とその実践を巡って-)

②この2013～2014年度ガバナー本田博巳(前橋RC)さんの50ページの文章です。

③今年度9月の地区ロータリー情報研究会の講師に来られるからです。

④私が伝え方に失敗しても、疑問に思うことがあったら、皆さんは、このパスト・ガバナーに質問すれば、私の間違いが正されるなどと思ったからです。

3. ロータリーには目的は4つあると思われていますが、目的は1つです。

(1) 理由は原文が「Object of Rotrary」と複数表示(Objects)ではなく単数表示(Object)

(2) ロータリーの目的は「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと。」この最初2行が本文で、ロータリーの目的が端的に表現されています

・「奨励」とは：良いこととして、それをするように人に強く勧める。「奨励」：これをした方が良いよ！「推奨」：これは良いものだよ。

・「育む」：親鳥が羽で包んで育てる。養い育てる。大事に守って発展させる。

以上で時間が来ましたので、今回は「奉仕の理念」とは何だろう？からお伝えします。